

# \*\*\*下落注意報\*\*\*

## アルトコインは氷河期突入か？

2023年6月8日配信

BTC,ETH、個人的にはTONは引き続き大量保有しますが、それ以外のアルトコインについては一切投資対象から一時的に外すことが安全だと今の時点では考えます。こちらはADAの過去1ヶ月チャートですが、下落が止まりません。



ADA過去1ヶ月チャート

### SECの超強気な対応

バイナンスとコインベースの提訴のなかで、米証券取引委員会が未登録証券と見なした多くの主要暗号資産は6月7日に急落、アルトコインの下落を主導し、本日も継続下落しています。

SECが5日と6日に提出した訴状には13のアルトコインが含まれ、これらの暗号資産には重荷となり、アメリカの投資家が取引を控える可能性があります。今後アメリカの取引所ではこれらのアルトコインの売買が停止されるリスクは高いです。

そしてバイナンス自体へのSECの今回の対応は今までとは格別に厳しいものとなっており、本当に、暗号通貨市場そのものを潰しにかかっていると感じます。

ゲンスラー委員長は6日、米CNBCの「Squawk on the Street」に出演しました。そこで「我々はもうデジタル通貨は必要ない」と発言しています。

コインベースのステーキングサービスは有価証券の提供であるとSECは指摘しています。

SECに未登録で事業を行なったことで、投資家保護の対策が十分ではなかったとSECは述べており、SECの調査や記録管理、利益相反に対する保護などが、コインベースの事業では不十分だったと指摘しています。

SECは訴状で以下の銘柄などを有価証券の例として挙げ、コインベースは投資契約として仮想通貨の取引サービスを提供したとも指摘しています。

### 今回対象になった主なアルトコイン

ソラナ (SOL)  
エイダ (ADA)  
ポリゴン (MATIC)  
ザ・サンドボックス (SAND)  
チリーズ (CHZ)  
インターネットコンピューター (ICP)  
ニア (NEAR)  
ダッシュ (DASH)  
ファイルコイン (FIL)  
アキシー (AXS)  
フロー (FLOW)  
ボイジャートークン (VGX)  
ネクソ (NEXO)

米大手投資アプリのロビンフッドはバイナンスとコインベースへのSEC提訴で言及された銘柄についてSECの主張をもとに上場の見直しを行なっていることが報じられました。上場廃止の可能性がありますので、そうなると多くの投資家がこれらのトークンを売るリスクが高いです。

### ステーキングから外れたトークンが今晚から売られる？

通常ステーキングを終了してトークンが口座に届き、売買ができるようになるまでは中1日かかります。一昨日、SECはバイナンスに対して提訴しましたので、今日の夜から明日にかけて、さらにこれらのアルトコインが売られるリスクが高いと考えています。

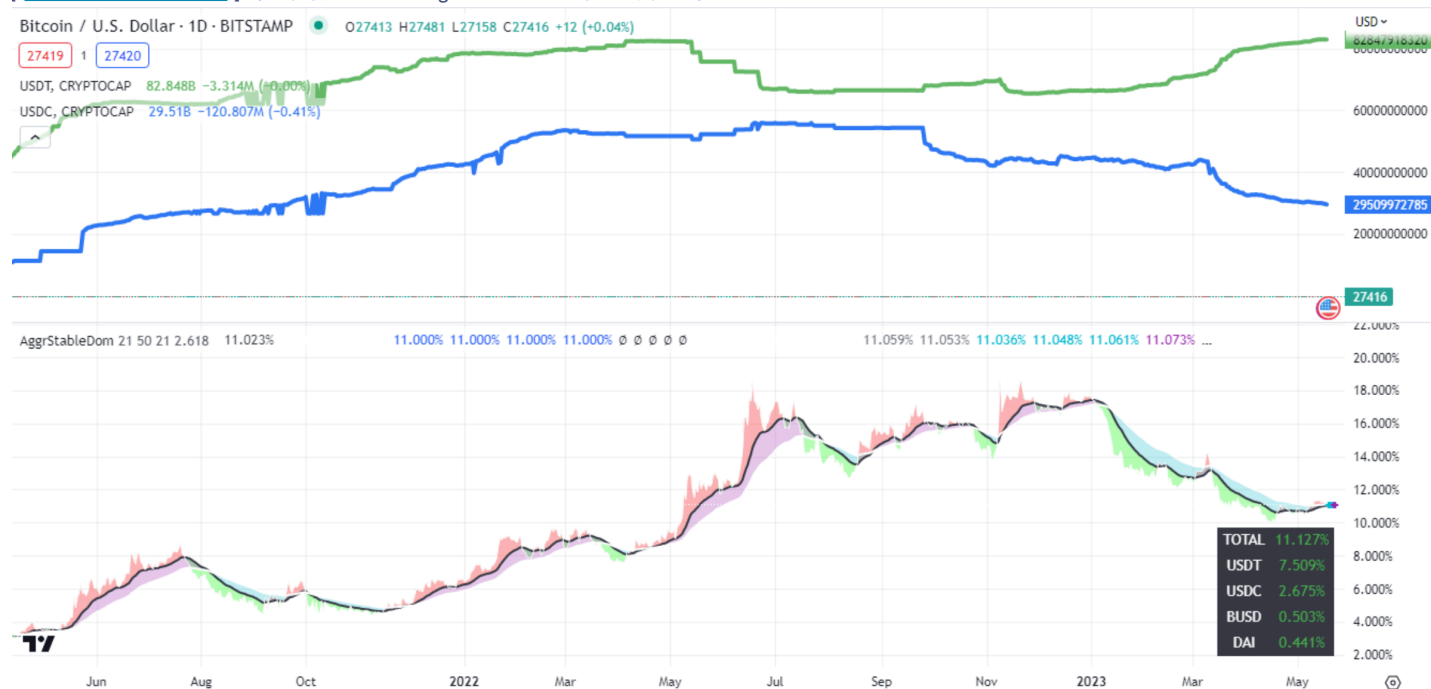
特に日本人に人気のあるADAはステーキングに回されている量も多いですから、売りが大きくなると、買い手不在で大きく下落するリスクが高いと考えています。

10万ドルポートフォリオではBTC,ETH,TON以外の保有するアルトコインを全て損切りして決済しました。ステーキングに入っている分はまだ手元に届きませんので、同数をレバレッジ無しでショートをかけました。そしてさらに追加ショートも5種類のトークンで行い、グリットトレードでもショートを開始しています。

## BTC,ETHの価格はどうなる？

グリットトレード用の新たなツールの中にステーブルコインドミナンスというチャートがあります。これは暗号通貨全体に対してのステーブルコインの割合となり、この割合が急増していれば、BTC、ETHに資金は向かわず、ステーブルコインに流れているということになります。現状はステーブルコインは急増していませんので、BTC,ETHに一定割合以上が退避しているようにみ取れます。BTC,ETHの価格が一段上昇するようであれば、アルトコインの売りは止まる可能性も高くなりますが、BTC,ETHが最下落するようであれば、アルトコインの投げ売りは止まらなくなると思います。

[リアルタイムチャート] (※ 閲覧にはTrading View への登録が必要です)



## アメリカ当局の規制はどこまで厳しくなるのか？

米政府及び当局の今回の厳しい姿勢は本物だと感じています。ある程度まで、暗号通貨業界潰しにかかっているように思います。シグネチャーバンクの破綻のように、既存金融業界への悪影響も大きく、さらに言えば債券上限問題を解決し、この後は1兆ドル規模で国債を発行します。国債の買い手不在にならないようにするためにも、暗号通貨業界への締め付けは厳しくなると思います。

ロビンフットで13のトークンが取引停止され、さらにはコインベースでも取引停止になれば、アルトコインは大幅下落します。

そしてそこまで止まらず、より幅広いトークンが証券扱いとなれば、流動性のもとと小さなトークンに関しては買い手不在のまま大暴落し、無価値化すると考えるべきです。アルトコインは完全な氷河期に入る可能性も高く、今回の一連の流れの中で、99%以上のトークンが無価値化するリスクもあると感じます。（数週間、数ヶ月の話ではなく、数年レベルの話になりますが。）

TONはアメリカの取引所での取り扱いがありませんので、影響はまだ小さいとは思いますが、アルトコイン全体が売られれば下落は続く可能性は高いです。しかし個人的にはTONについては財団側とも連携が取れますので、引き続き我慢して保有します。

アメリカの訴訟が前向きな判断がされるタイミングがあれば、売られすぎた主要アルトコインはそのタイミングで大暴騰することになりますので、そのチャンスを逃さないようにアンテナをしっかりと貼り、情報発信したいと思います。